



▼豊かな自然の中を駆け抜ける記念列車とそれを撮影する鉄道ファンの皆さん



▼駅には記念撮影する地元の人たちの姿も(甲南駅)



▼駅長の合図で出発進行(草津駅)

JR草津線の全線開通120周年を記念し、2月20日に記念列車が運行されました。今回、運行された記念列車はジョイフルトレイン「あすか」で、30年ほど前まで草津線を走っていたディーゼル機関車「DD51」がけん引しました。今月号では、記念列車が甲賀路を走る様子やお祝いムードで盛り上がった地元の様子などを写真でお知らせします。

JR草津線全線開通120周年

記念列車「あすか」が甲賀路を走る

中嶋市長らが 出発のテープカット

記念列車が発車する草津駅には、約500人の方が詰めかけ、出発を前に中嶋市長らがテープカットで祝いました。
草津駅長の合図で、忍者がデザインされた記念のヘッドマークを付けたディーゼル機関車が力強く動き出すと、懐かしいDD51の姿を写真に残そうと鉄道ファンや沿線の皆さんが一斉にシャッターを切っていました。



▲テープカットで祝う関係者

記念列車の撮影スポット に鉄道ファン集まる

記念列車が走るときには、多くの鉄道ファンの皆さんが絶好



▲多くの鉄道ファンが駆けつけた水口町高山地先

の撮影ポイントを探されます。今回、皆さんに選ばれたのは、水口町高山から岩坂の付近で、草津線らしい場所で列車の全景が撮影できるという条件がぴったり合ったようです。
また、記念列車が停車する駅では、列車と一緒に写真撮影される方も多くおられました。

甲賀駅では、地元そばを、 甲南駅では、イルミネーションで祝う

草津線の120年は、地元の歴史とともにあります。通勤や通学をはじめ、買い物や旅行など、大切な交通手段として、これまでも多くの方に愛され親しまれてきました。共に120周年を祝おうと甲

賀駅では、同駅を育てる会の皆さんが地元産のそば粉を使ってのそばの手打ち実演・販売を行い、また、深川まちづくり委員会の皆さんが甲南駅前にイルミネーションを飾り付けるなど、市内はお祝いムードに包まれました。



▲深川まちづくり委員会による甲南駅前のイルミネーション



▼甲賀忍者が乗客の皆さんをおもてなし



車内では甲賀忍者らが 沿線の魅力をPR

運行された記念列車の車内には、特別に甲南町商工会の皆さんが甲賀忍者に扮して乗車。特産の黒米で作ったおこわやおむすびを配り、甲賀市の魅力をPRしました。
また県酒造組合の皆さんも草津線沿線の地酒をPR、心温まるおもてなしは乗客の皆さんにも喜ばれました。

120周年を契機にさらなる利用にご協力を

今回の記念列車を企画したのは、当市も加盟する滋賀県草津線複線化期成同盟会です。同会をはじめ、当市では今回の120周年を契機に、草津線の利便性向上につながる複線化に向けたさらなる取り組みを進めます。
早期の複線化のためには、何よりも多くの皆さんが草津線を利用いただくことが重要です。地球環境にも優しい公共交通の利用を地域一丸となって進めましょう。